
Da = Capo

菖蒲つぐみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D a ll Cap o

【Zコード】

Z5310C

【作者名】

菖蒲つぐみ

【あらすじ】

シャーロックホームズの名を継ぐ、平成の名探偵。そしてアルセ
ーヌルパンの名を継ぐ、平成の怪盗 月明かりに導かれ、二人
は再び出会つたのだ。スター・オブ・ファイアーを廻つて彼らの戦
慄すべき事件の幕が切られる。

夏の訪れを思わせるような初夏の生暖かい夜風を肌に感じながら、怪盗キッドは階下を見下ろした。遙か下に見える赤いランプはパトカーのサイレンだろうか。地上60階の高層ビルの屋上から見れば、大勢の警察官もちつぽけな蟻の集団でしかない。

キッドの立つ場所、それは都内の高層ビルの屋上である。首をほんの少し傾けるだけで視界に入る東京タワー。手を伸ばせば届いてしまいそうな位近い。そして、その周りを轟音を轟かせながら巡回する鉄のカラスが1羽、さらに奥にもう1羽。

警視庁も彼の為なら出し惜しみをしないのだろうか、闇夜には無数のヘリが、まるで獲物を捜すハンターの「」とく目を光らせながら旋回を続いている。

『午前12時ジャスト。』

キッドの計画には、1秒の狂いすらなかつた。腕時計で時間を確認し、顔を上げる。目指すは寺井ちゃんの待つ、ここから北西へ14km先の雑居ビルの屋上。

この場所からは、六本木の真新しい高層ビルや、副都心と呼ばれる新宿のビル群を一望することができる。おびただしいネオンの数々。まるで人工的な螢を見ているようだ。異性を口説き落とすなら、もつてこいのシユチュエーションである。だが、彼の手の中には、そんな安っぽい光りなんか比べものにならない程、色鮮やかに美しく輝く宝石が握られていた。

ハンングライダーで飛び立つ前に、一つやつておかなければならぬことがある。それは傍から見れば然程重要なことは思えないような行為であるが、彼にとつてはヤマを踏む中での鍵と言つても過言ではないだろう。

キッドは恐る恐る今夜の獲物を月明かりに照らして見る。幾度となく、この瞬間を経験してきたが、胸の高鳴りが治まる時は無かつた。

腕を伸ばし、獲物を照らす。彼の眼に映るのは 輝く宝石の向こうに透けて光る、月のシルエット。

『予想はしていたけれど・・・』

キッドじみのポーカーフェイスも、この時だけは歪んでしまうのだろうか。彼の表情は明らかに落胆していた。

だが、キッドはいつまでもこの感傷に浸つていてるわけにはいかなかつた。なぜなら、この頃合いを見計らつたかの様に、彼の背後から規則正しく、足音が一步、また一步と、こちらに近付いてきているからだ。まるでわざと静寂を破るかのように。

キッドには、この足音の主の検討がついていた。今夜、この場所に来るのは一人しかいない。彼はクルリと体の向きを変え、月に背を向けると、

「お待ちしていましたよ。お久しぶり……いや、ここは初めてまして」と言つべきかな。」

ゆっくりと、背後から迫っていた人影に声をかけた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5310c/>

Da = Capo

2010年10月15日01時37分発行